



## 田島・寺西法律事務所

時間や場所を問わず膨大な資料にアクセスでき  
業務効率が大幅アップ、顧客対応が迅速化

### 田島・寺西法律事務所

企業の契約作成やリーガルチェックはもちろん、内部統制、コンプライアンス、また内部通報制度支援、知財管理など、時代にあわせて変化するビジネスを支援する様々な活動を提供している。

交渉・裁判実務における紛争処理経験をベースとして、将来の紛争リスクを的確に予防できるコンサルティングにも注力している。

現在、上場企業を含む約80社と顧問関係にある。



田島正広弁護士

田島・寺西法律事務所

URL <http://tajima-law.jp/>

#### ■現状と背景

従来より、事務所内のデータは3種のバックアップを行うなどデータの保存や管理には気を配っていた。

クライアントの情報や資料などの貴重なデータを失わないよう、事務所の全データを管理者のPCに集約。更に定期的なバックアップをとる他、定期的にDVDにも焼くという3段階のバックアップを実施し、機器の故障や人的ミスなどでデータをなくさないため、最善を尽くしていた。

しかし事務所内だけのバックアップがいかにも完全でも、ビル倒壊など災害によるデータ消失の危険は避けられないことを東日本大震災で痛感。ローカル環境ではない別な場所に、安全にバックアップする方法を検討していた。

#### ■課題

事務所内でのローカルバックアップは多重化し精密に管理していたが、重要な資料が全て同一の場所に保存されているだけでは不十分であると認識していた。

また、クライアント数が増加するにつれて情報量も増加し、保存するデータ容量も次第に増大していたため、従来の所内での保存・バックアップでは保存領域に余裕がなく、不足する事態を危惧していた。さらに、弁護士が外出時に大量の書類を持ち運ぶことは現実的でなく、セキュリティ上の問題もあることから、外出先や自宅からデータにアクセスできるようにしたいというニーズがあった。

そこで、クラウドバックアップを導入することでデータを安全に保存するとともに、外出先からのデータ取得を可能とし、業務効率化をも図ることへの期待があった。もっとも、大手企業の提供するクラウドバックアップを検討したところ、ストレージサイズが大容量でコストも高くなるため現在のニーズを満たすものではなかった。

#### ■AOSBOX選定のポイント

費用が低価格で収まり、なおかつデータ保存容量も十分であることが、選定のポイントとして挙げられる。

また、バックアップデータが事務所のサーバーと同じ階層で保存されるため、データ保存場所にアクセスしやすいことも利点と考えた。

さらにセキュリティに関して、暗号化アルゴリズム(AES-256)とAmazon AWSテクノロジーを採用していること、自身でパスワードを定期的に変更してセキュリティ設定を管理できること、万が一、事務所データを削除してしまったとしても、スピーディに復旧対応が可能となること等に安心感が得られるものと判断した。

#### ■効果

外出先からのデータ取得が可能となったことで、クライアントへの対応時間の短縮につながった。

出先や自宅など、場所や時間に拘束されることなく資料にアクセスすることができるようになった。弁護士が時間を効率よく使うことができるようになった。

インフルエンザ流行期などには、体調は回復しているが出勤できない期間においても、ほとんど支障なく仕事を進めることができた。